



日本骨髄バンクの現状（平成 24 年 9 月末現在）

	8 月	9 月	現在数	累計数
ドナー登録者数	3,407	3,217	418,890	556,457
患者登録者数	257	244	2,816	36,833
移植例数	113	120	-	14,723

■ 9 月の年齢別ドナー登録者数（現在数）

10 代	2,538 人
20 代	70,536 人
30 代	152,964 人
40 代	154,580 人
50 代	38,272 人

■ 9 月の 20 歳未満の登録者 165 人

注) 平成 24 年 7 月より集計方法が変わりました。

■ 9 月の区分別ドナー登録者数：献血ルーム／1,220 人、献血併行型集団登録会／1,888 人、集団登録会／45 人、その他／64 人

注) 数値は速報値のため訂正されることがあります。

■ 骨髄バンクを介して 2 回提供された方（累計数）838 人 ■ DLI（ドナーリンパ球輸注）療法の実施件数（累計数）520 件

■ 国際協力の現状（2012 年 7 月～9 月）

< 海外ドナー⇒国内患者 > 移植数 2 件：KMDP 2 件 累計移植数：174 件

< 国内ドナー⇒海外患者 > 提供数 1 件：KMDP 1 件 累計提供数：214 件

1 平成 24 年度上半期の移植数、ドナー登録者数等の実績について

平成 24 年度 4 月 1 日から 9 月 30 日までの上半期の移植数は 672 件で、平成 23 年度同期間（618 件）より 54 件の増加となりました。内訳は〔国内ドナー⇒国内患者〕が 666 件で 55 件の増加、海外バンクを介した〔海外ドナー⇒国内患者〕が 3 件で 2 件の増加、〔国内ドナー⇒海外患者〕が 3 件で 3 件減少しました。また、末梢血幹細胞移植は 7 件が実施され、導入以降累計で 10 件となりました。患者さんの登録数は前年度同時期の 1,378 人より 96 人多い 1,474 人（国内 1,125、海外 349 人）でした。

一方、ドナー登録者数は、平成 24 年度 9 月末現在で 418,890 人を数え、この間の新規登録者数は 18,588 人で全国 21 の県で前年度の実績を上回りました。特に 6 月 18 日からドナー登録説明員を献血ルームに設置した埼玉県では、824 人増と前年度の実績を大きく上回る結果となっています。今後も一人でも多くの患者さんに移植のチャンスを提供できるよう、関係者一同、努力を続けてまいります。皆様のより一層のお力添えをいただきますよう、心よりお願い申し上げます。

2 AC ジャパンの骨髄バンク支援キャンペーン、来年度も実施決定！

AC ジャパンの骨髄バンク支援広告キャンペーンが、来年度も引き続き実施されることになりました。7 月からスタートした今年度のキャンペーンでは、イメージキャラクターの川島海荷さんがテレビ、ラジオの CM で「18 歳からの骨髄ドナー登録」をアピール、大きな反響を呼んでいます。来年度の新しい支援キャンペーンも、よりたくさんの方々の方に届くことを期待しています。

3 「骨髄バンク・さい帯血バンク合同全国大会 2012 in 仙台」が開催されました

去る 9 月 15 日、仙台市太白区文化センターにおいて「骨髄バンク・さい帯血バンク合同全国大会 in 仙台」が開催されました。本大会は初の両バンク合同開催によるもので、全国から約 350 名の方々が来場されました。

第一部では、小宮山厚生労働大臣（当時）をはじめとして宮城県副知事、仙台市副市長などご来賓の方々からお祝いのお言葉をいただいた後、両バンクの現状報告が行われました。



第二部では「ともに造血幹細胞移植を必要とする人のために」をテーマに、前半では東日本大震災での対応が両バンクから報告されました。また、被災した宮城県立がんセンターの佐々木治医師とさい帯血移植を行った患者さんが登壇され、震災時、病棟が水道管破裂によって水浸しになって機能不全に陥ったこと、患者さんが水浸しになった病室からボランティアの高校生に背負われて避難したことなど、被災当時の過酷な状況が貴重な写真とともに報告されました。

引き続きシンポジウムでは、患者さん、コーディネーター、移植医師などパネリストそれぞれの立場から、今後のよりよい造血幹細胞移植のためになにをすべきか、議論されました。

最後に NHK 仙台少年少女合唱隊の演奏が行われ、観客全員と NHK 震災復興ソング「花は咲く」を合唱し 4 時間にわたる大会の幕を閉じました。

開催に当たりご支援、ご協力いただいた関係者の皆様に心より御礼申し上げます。

4 第7回研音グループ チャリティーオークションのお知らせ

今年も発起人である俳優の唐沢寿明さんをはじめとして、多くのタレントさんのご協力を得て、10月16日から22日まで「第7回研音グループチャリティーオークション」が開催されます。収益金は全て当財団に寄付されます。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

■開催場所:

携帯サイト「研音 Message」内、オークション特設サイト <http://www.ken-on.com/auction/2012/>

■開催期間:2012年10月16日(火)~22日(月)

※チャリティーオークションのご案内は研音グループオフィシャルサイトにもあります

<http://www.ken-on.co.jp/auction/index.html>

5 今月は骨髓バンク推進月間です！ 日比谷公園では「おながわ秋刀魚収穫祭」開催

骨髓バンク推進月間である10月は、全国各地でドナー登録会やチャリティーキャンペーン等、多くのイベントが開催されています。

10月20日(土)、東京・日比谷公園で午前10時より東京都による「おながわ秋刀魚収穫祭」が開催され、ドナー集団登録会が行われます。東日本大震災で被災した宮城県女川町のがれき処理に、いち早く名乗りを挙げた東京都への御礼として同町が秋刀魚を6万匹贈呈し記念イベントを開催します。当日は来場者に秋刀魚が無料で振る舞われる予定です。

6 東京都稲城市で提供ドナーへの助成制度がスタート

10月より東京都稲城市において骨髓及び末梢血幹細胞を提供されたドナーのための助成制度が導入されました。これは、ドナーとドナーが従事する事業所を対象に「骨髓及び末梢血幹細胞を提供したドナーには検査・入院に要した期間のうち1日当たり2万円、ドナーが従事する事業所には1日1万円をいずれも通算7日を上限として支給する」というものです。同様の助成制度を導入した新潟県加茂市等に次ぐ全国で5例目の自治体で、今後、多くの市町村に拡大されることを期待します。



7 非血縁者間末梢血幹細胞採取施設・移植診療科の認定について

以下の施設が新たに非血縁者間末梢血幹細胞採取施設・移植診療科として認定されました。これまでに認定された施設は 38 施設です。新規認定施設については、当財団ホームページ>患者さんへ>移植認定病院およびドナー登録されている方へ>面談施設一覧でもご覧いただけます。

◆非血縁者間末梢血幹細胞採取施設・移植診療科

・採取施設

国立大学法人島根大学医学部附属病院

・移植診療科

同左 腫瘍・血液内科／小児科

8 スノーボードで骨髄バンクを支援「Snow Bank Pay It Forward 2012」開催

昨年に引き続き、2012 年 11 月 18 日(日)、東京・代々木公園において「Snow Bank Pay It Forward 2012」が開催されます(<http://www.sbpif.net/>)。本イベントは骨髄バンクを通じ移植を受けたプロスノーボーダー・荒井善正さんが実行委員長をつとめ、代々木公園に人工の雪を降らせ、スノーボードを通じて骨髄バンクを普及啓発することを目的としています。プロスノーボーダーの華麗な滑りが披露されるほか、ステージ演奏、ケータリングブースも用意され盛りだくさんな内容になっています。当日は、献血併行ドナー登録会が開催されます。

9 造血幹細胞移植を受けた患者さんの復職状況と関連要因の研究についてのお知らせ

現在、「造血幹細胞移植を受けた患者の復職状況と関連要因」をテーマに看護支援を検討する研究が実施されています。この研究は、造血幹細胞移植実施後、退院療養されている患者さんの復職状況と関連要因を明らかにし復職に対する看護介入を検討するための示唆を得ることを目的として進められています。

この度、より多くの参加を呼び掛けるため研究者から財団に協力依頼がありましたのでご案内申し上げます。詳細は、当財団ホームページ>医師の方へ>医師宛通知文をご参照ください。

10 財団の会議開催予定

傍聴をご希望の方は、事前に財団事務局総務部までお申し込みください。

	公開・非公開	開催予定
業務執行会議	公開・一部非公開	10月24日(水) 17:30~19:30 廣瀬第1ビル2階会議室

コーディネーター関係者のコーナー

以下は、医師およびコーディネーターの皆さまを対象としています。

11 骨髄採取に伴う歯牙損傷への対応について(お願い) <採取施設の医師の方へ>

気管挿管全身麻酔で行われる骨髄採取手術に際して、挿管操作あるいは麻酔中の体位による歯牙損傷が合併症として複数例、報告されています。

この件についてドナー安全委員会において検討した結果、注意喚起が必要とされ、9月18日に安全情報が発出されました。

なお、最近では、一般的な手術症例においても、周術期における口腔ケアの重要性が高まってきているとのことです。

以上のような状況から、骨髄ドナーについては術前健診等において、動揺歯などへの十分な評価と説明にご留意いただき、必要な場合は専門的な口腔ケアをご考慮くださいますようお願いいたします。(安全情報、参考事例概要は同封資料をご参照願います。資料は、当財団ホームページ>医師の方へ>調整医師・採取医師の方へ>医師宛通知文からご覧いただけます。

12 第18回コーディネーターブラッシュアップ研修会について<コーディネーターの方へ>

4月13日付けの「平成24年度コーディネーター研修について」でご案内のとおり、第18回コーディネーターブラッシュアップ研修会は、平成25年3月7日～9日に石川県金沢市で開催される第35回日本造血細胞移植学会総会に併せて開催します。具体的な内容については、現在、検討を重ねているところですが、スケジュール等、現時点で決まっていることをお知らせします。

<1日目> 石川県立音楽堂、ANAクラウンプラザホテル金沢、ホテル日航金沢他

平成25年3月9日(土)

7:15～8:45 骨髄バンク・さい帯血バンク合同報告会《調整医師・認定施設連絡責任医師・コーディネーター合同会議およびさい帯血バンク報告・意見交換会》

9:00～13:00 学会参加

13:15～13:45 受付

14:00～16:30 ブラッシュアップ研修会

17:00～19:00 市民公開講座

<2日目> 金沢市文化ホール 大集会室

平成25年3月10日(日)

9:00～13:00 ブラッシュアップ研修会

○3月8日(金)は移動日とします。

○交通・宿泊の手配は各自でお願いします。

・実費を支給しますが、経費節減の見地からできるだけ宿泊パック等の割安なものをご利用ください。



- ・宿泊費は規程により 7,800 円です。
- ・交通費は実費精算です。航空券は『特割』『旅割』『先得』等を利用してください。(要領収書)
- ・宿泊パック利用の場合は領収書添付で実費精算となります。

○研修会は、コーディネーター、地区事務局職員、初期コーディネート担当職員を対象とします。欠席される方、また後泊が必要となられる方は事前に地区事務局経由でドナーコーディネート部まで申し出てください。(会場の都合等がありますので、12月15日までに連絡をお願いします)

○コーディネート以外の理由で、1日のみの参加は不可とします。ただし、3月9日(土)の午前に移動し、14:00からの研修に参加できる場合は、事前に申請していただいたうえで可とします。(個別にドナーコーディネート部にご相談ください)

◎地区事務局職員、初期担当、コーディネーションスタッフ、ドナーコーディネート部職員は、3月8日(金)17:00~19:00に金沢市アートホール(予定)で開催する地区事務局会議にご参加ください。

13 インフルエンザの予防接種について<コーディネーターの方へ>

今年度もインフルエンザワクチン接種を希望するコーディネーターに対して、接種に係る費用を全額補助します。各自、医療機関にてワクチン接種を行い、領収書を添付の上、財団に接種費用を請求してください。ただし交通費は自己負担とします。なお、接種期間は平成25年3月31日までとしますが、産業医より、インフルエンザワクチン接種は10月中(遅くとも11月中)に行うことが望ましいとの見解をいただいています。

ドナーの方については、12月から3月に骨髄または末梢血幹細胞採取の日程が決定(もしくは内定)しているドナーの方が自主的な判断で接種を受ける場合、接種費用の半額を財団で補助します。ドナーの方から申し出があったときは地区事務局へご連絡ください。

14 連絡事項

◆検体保存事業の検体管理番号の桁数変更について<移植施設・採取施設の医師の方へ>

検体保存事業の検体には「検体管理番号」を採番しています。

11月1日出力分から、桁数が以下のように変更となりますので、ご承知おきください。

なお、これに伴う運用の変更点はありません。

現在：4桁 - 2桁 (例：1111-22)

変更後：2桁-3桁-2桁 (例：11-222-33)

※番号の前に患者さんは「P」、ドナーさんは「D」がつきます。

◆第16回コーディネート終了時アンケート(2011年度)集計について

コーディネート終了時アンケート(2011年度)を集計しました。集計結果は、今月号のマンスリーJMDPに同封してコーディネーターの皆様へお送りします。